

# 学校だより

令和7年11月4日(火) 第7号

心の豊かな生徒・自ら学ぶ生徒・強くたくましい生徒

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻3750番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <https://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>



## 西原☆フェスティバル 西原小学校と合同開催へ

校長 細井博幸

10月というと秋晴れの中、様々なスポーツイベントが行われる時期ですが、今年はからっとした秋晴れの日が少なく感じました。気象データを調べてみると、ここさいたま市の10月の日照時間は、なんと平年の約半分でした。都心では、日照時間のデータが残るここ136年間の中で、最も日照時間が少ない10月となったそうです。日差しが少ないと寒さも感じますが、平均気温の方は、ほぼ平年並みでした。記録的な猛暑からの記録的な日照時間不足。実りの秋だけに、農作物への影響が気になるところです。



さて、7月の学校だよりも取り上げました西原小学校・中学校運営協議会の第2回目の会議が10月28日に西原小学校にて開催されました。今回も前回に引き続き「西原☆フェスティバル」に関する熟議が行われました。元々、西原小・中学校合同での秋の行事として行われていた西原☆フェスティバル。令和元年までは、各部活動による焼きそばや綿菓子、豚汁などの模擬店、バザー品の販売、岩槻警察による白バイ展示、人形の東玉さんによる特設販売などが行われていました。しかし、コロナ禍によりその後3年間実施が見送られ、その翌年に私は校長として西原中に赴任しました。令和5年度に西原☆フェスティバルが再開できたのは、今の高校2年生の保護者を中心とした当時のPTA役員の皆様のおかげでした。「高校生になる前に、中学校で文化祭的な楽しい体験を以前のように子どもたちにさせてあげたい。」との強い思いを受け、PTAによる西原☆フェスティバル実行委員会を中心に話し合いが何度も行われ、企画内容等が決定され、実施することができました。校長1年目の私は、何度もPTAの力の素晴らしさを実感したことが忘れられません。とはいえ、コロナ禍を経てPTA活動の見直し、保護者の負担軽減の流れは全国的に広まり本校も本年度からPTA各種委員会活動の休止。会長、本部役員4名を中心に必要な活動では保護者ボランティアを募るPTA活動へと改革が進められました。それに伴い西原☆フェスティバルも持続可能な行事にしていくことが求められています。こうした背景を受け、今回の学校運営協議会において、本年度から西原小学校と合同で開催することとしました。

具体的には、令和8年1月31日(土)に西原小学校で実施される「地域・子ども交流会(西原小子どもフェス)」に西原中学校も参画し、制服販売、生徒たちによるボランティア活動、部活動による発表等を行う予定です。さらに今年は、岩槻区スポーツ振興会の「親子ふれあいスポーツフェスタ」が同日開催となります。西原小、西原小PTA、青少年育成さいたま市民会議岩槻地区会、岩槻第三体育振興会、岩槻歴史紙芝居の会、岩槻区スポーツ振興会に、西原中、西原中PTAが加わり、西原小学校の児童、西原中学校の生徒、そして地域、保護者の皆様との大きな交流の場となることでしょう。多くの皆様に足を運んでもらいたいと願っています。

現在、PTA活動については、小林会長を中心には次年度の活動を検討していますが、次年度の会長、本部役員が未定であることに大きな危機感を感じています。PTA活動なくして、充実した学校教育活動は成しません。引き続き「無理なく」「できる範囲で」「子どもたちのために」というPTA活動方針のもと、本部役員として御協力いただける方が出てきてくださることを切に願っています。そして教職員とともに子どもたちのためによりよい学校づくりをしていきましょう。